

研究区分	教員特別研究推進 地域振興
------	---------------

研究テーマ	静岡県内の観光パンフレットにみる観光資源の位置づけと領域イメージ				
研究組織	代表者	所属・職名	経営情報学部経営情報学科・教授	氏名	内海 佐和子
	研究分担者	所属・職名	—	氏名	—
		所属・職名	—	氏名	—
		所属・職名	—	氏名	—
	発表者	所属・職名	経営情報学部経営情報学科・教授	氏名	内海 佐和子

講演題目	静岡市および隣接市の観光パンフレットにみる観光資源と領域イメージ
------	----------------------------------

**研究の目的、成果及び今後の展望**

■研究の目的：人々が抱く町や都市に対するイメージの形成は、メディアが発達する以前は主として実体験や伝聞に基づいていた。しかし、メディアが発達した以降は、イメージ形成の多くをメディアが担うようになった。現在、一般にメディアと呼ばれるものは、昨今主流のデジタルのみならず、紙ベースなどのアナログまで多種多様であるが、観光分野における情報発信という意味では、従前からある観光パンフレット、観光マップ、観光ガイドブック（以下、観光パンフレットなど）もメディアといえる。行政や観光協会が発行する観光パンフレットなどには、その土地の地図、歴史、観光資源などが簡潔、かつわかりやすく記載されている。そのため、その観光パンフレットなどの記載内容を整理することで、それぞれの行政や観光協会がどの観光資源を推しているのか、また、どの範囲までを自身の市域に関連するエリアと捉えているのかなどを把握することが可能である。また、見方を変えると、各行政の共通点、独自点、傾向も観光パンフレットなどからみることできる。

そこで本研究では、行政や観光協会が発行する観光パンフレットなどの記載内容の精査から、それぞれの行政における観光資源を把握する。他方、各行政同士の共通点および独自点の整理から、領域イメージを把握する。

なお、昨年度は静岡市を中心とする6市1町を対象として研究を行った。

■研究の成果：今年度は、県西部の浜松市、湖西市、磐田市、掛川市、袋井市、御前崎市、菊川市、森町の7市1町を対象とする。データ整理として用いる観光パンフレットなどは、昨年度と同様に、1) 行政または観光協会が発行している、2) 市域全域の地図が1枚に掲載されている、3) 歴史散歩やグルメマップなどのようにテーマを絞っていない総合版、4) 各市1点とする。

分析からは、隣接市との関係の記載が少ないことが共通点として把握できた。しかし一方では、記載する項目の種類の違い、JR 東海道新幹線の駅の有無による交通機関の扱いの違いなどの相違点も把握できた。また、市域の面積と記載内容の密度には関係が薄いことなどもわかった。

■今後の展望：昨年度行った静岡市を中心とする県中部の分析との比較により、地域性の差を把握する予定である。そこから、静岡県中西部の領域イメージが明らかになると考える。